



濱見源作さん(知々井)

自宅で奥様と暮らし、娘さん達が帰省しお世話をしておられます。若い頃から読書が趣味で、文藝春秋や新聞を眼鏡なしで読まれるそうです。スポーツも好きで野球や相撲を楽しみに観戦しています。食事はおいしくいただき、天気良ければ家の前を散歩している濱見さん。それが長寿の秘訣のようです。

井筒綾乃さん(御波)



諏訪苑で、職員の皆さんのお世話を受けて穏やかに過ごされています。若い頃から歌や踊りが大好きで、今でも気分がいい時には歌を口ずさみ、手踊りが出ます。朗らかでよくよしない性格の井筒さん、「感謝！」が口癖で、周りの皆さんに手を合わせる事が多いといいます。

竹下ミチ子さん(御波)



息子さん家族と一緒に暮らし、見守られながら生活しています。ひまわりのデイサービスにも出掛け、職員の方や他の利用者さんとお話することを楽しみにしております。

祝 100歳

今年度満百歳を迎えられる3人を紹介します。
(健康福祉課)

近畿&松江 海士後鳥羽会総会

10月2日(日)、大阪市の太閤園にて、第52回近畿海士後鳥羽会総会が開催されました。海士町からは澤田副町長や亀谷議長のほか、区長会から10名の各区長が出席し、来賓を含めて約250名が集まりました。

懇親会では、海士中18期、19期、20期生の皆さんが壇上上がり、中学校の校歌を斉唱。同窓会のテーブルも多く、会場の皆さんも旧友たちと共に、懐かしい『要が丘』の唄を口ずさんでいました。余興は銭太鼓、民謡、カラオケなどが続き、はやおつぱりキン・ヤモ・ヤ。しゃもじを打ち鳴らす音が響き、会場には踊りの大きな輪が出来ました。

同月15日(土)には、松江市のホテル宍道湖にて、第18回松江海士後鳥羽会総会が開催されました。来賓を合わせて65人が集い、今年海士町の初音会や島後海士後鳥羽会からの参加もありました。

懇親会の余興は「よいよい」でスタートし、澤田副町長や役員、初音会のメンバーらが仮装して練り歩くと、会場は歓声と笑いの渦。こちらもベはキン・ヤモ・ヤ踊りで、しゃもじの音とともに、心が一つになりました。



松江海士後鳥羽会 総会(↓)(→)



(←)(↑)近畿海士後鳥羽会総会

寄稿

たいら りょう

平了さん講演会に寄せて

(中里区在住、島根輝美)



9月22日(木)には島民ホール、23日(金)には海士中学校と隠岐島前高校において、宮城県仙台市を拠点に活動する「スコープ団」の団長である平了さんの講演会が行われました。

平さんは2011年3月11日の東日本大震災の直後、日本中が混乱の中にあつた時にいち早く、本場に必要なる場所へ本場に必要なる支援をしました。私は震災から数日後に友人を介して平さんのことを知り、彼の活動、考え方に共感して応援をはじめ、現地にも行くようになりました。そんなご縁があり、海士の皆さんにも平さんのお話を聞いてもらいたいと思ひ、多くの方のご協力、後押しをいただいて今回の講演会を開催することができました。

全国から色々な人が集まり挑戦し続ける海士町だからこそ、聴いていただきたい話がありました。決して流暢ではない話し方、飾らない風貌、言葉遣い。ありのままの彼の姿が海士の皆さんにどう映りどう感じていただけたのか、不安がなかったわけではありません。経験した者にしか分からない震災当時のありのままの出来事、感じたこと、シロッキングな内容もあつたかと思ひます。しかし、

「明日死ぬつもりで今日を生きろ」

「今日が、やり直しの10年の最初の日だとしたら?」

「人の足を引っ張るのは卑怯者だ」



(↑)真剣に耳を傾ける島前高校生たち



(↑)海士中学校でもトークライブ



(↑)このたび結成された、青空応援団 海士組

そんな力強い言葉の数々は、大人にも生徒さん達の心にもすんなり入っていったと思ひます。講演後には多くのメッセージが届きました。「平さんと呼んでくれてありがとうございました」と私を訪ねてくれた生徒さんもいました。「子供が変わった」とメッセージを下さった親御さんもいました。もちろん一度の講演を聴いただけで大きく変わることはないでしょうし、捉え方も様々で当然です。でも、たとえ一人でもいい。心のどこかに何か残せたらそれでいいと思ひています。いつか何かの時に「あんな大人もいたな」と思ひ出してもらえたら。理不尽さを感じる社会でも、自分はどう生きたいのかを迷つた時に、「かつこいい大人」がいることを思ひ出してもらえたらと思ひます。そして大人にも、まだ遅くないと思ひてほしかったのです。もしかしたら今日が「やり直しの10年の1日目」かもしれませぬ。今を精一杯生きる

こと、自分や人を大切にすること。そのことを伝えたくて平さんに来て頂きました。この講演会のためお力添えを頂いた多くの方、健康福祉課、教育委員会、海士中、島前高校の皆様には本場に感謝致します。そしてお忙しい中、会場に足をお運びいただいた皆様、本場にありがとうございました。

平さんは現在、「支援はいつまでも続けると人を駄目にしてしまう。必要なのは本気の応援だ」という想いで、社会人ばかりの応援団「青空応援団」を結成されています。実は今回の講演会を機に、『青空応援団海士組』が誕生しました。団長の指導の下、現在4名の団員が自ら研鑽しながら頑張つていきます。この海士組は団員募集中です。男性限定、社会人であればどなたでもOKです。本気で誰かを応援することは素敵だと思ひませんか? 団員が増え、この町がさらに活気づいていきますように!